

■（２４１）震災の教訓で規制緩和 学校給食の調理場

東京都西部の福生市は、在日米軍の拠点・横田基地で知られます。基地脇の道路には英語表示の店がずらり。その市に近く、新しい学校給食センターが近く完成します。特徴は避難所機能を備えている点です。避難者を受け入れ、おにぎりの炊きだしができます。

各地にある給食センターを災害時の炊き出しに使えないかというのは、阪神大震災からの課題だったそうです。市幹部が明かしてくれました。ただ、子供たちの給食を作るため、衛生管理の厳しい施設に、避難者を入れていいか。炊き出しを配れるか。さまざまな「規制」があったそうです。しかし、東日本大震災を受けて、融通が効くようになり、防災機能がつけられるようになりました。３月までいた岩手県釜石市でも、高台に再建されたばかりの小中学校の給食室は、災害時の炊き出しに備えた機能がついています。

北朝鮮がミサイル発射を繰り返します。「在日米軍」も標的なりうるとまで言います。災害と違って、紛争は避けられるはず。そんな事態の避難は考えたくありません。（山）